

日本GAP **7** 仙台支部報

No. IGAP-JAPAN SENDAI INFORMATION

頒価 無料 / 送料60円(切手可)  
 ○編集人: 安藤澄雄  
 ○発行人: 笠原弘可(仙台支部代表)  
 申込先 〒980 仙台市東10番丁1  
 国鉄アパート1-18

# 想念見張員 清水正

山形支部代表

私の今やっている仕事は、国鉄の列車などの乗り心地がよくなるように、上下左右の動揺を直したり、レール等のくたびれた材料を交換することなどです。

その仕事の主なものは「むら直し」といって、振動器具を使用して、砂利をまくら木の下に敷き込んで、落ちた場所を持ち上げ、レールを平らにすることです。

冬は雪で線路には全然手をつけられないため、春先はめっほう忙しく、毎日のように現場に出かけては大汗を流しながら一日が終わります。

そうした仕事を続けて5年になります。今では仕事にも自信がつき、社会的にも集団での行動が大きな力を生むことを知りました。また、長くて重いレールでも、職員の総意と周到な準備があれば短時間に交換できることを知りました。

仕事は日中行われます。列車の往來の合間をみての仕事です。当然のことながら危険が伴いますので、作業中、最低一人の列車見張員がつけられます。見通しの悪い所ではさらに一人、と通る時には二人の中継見張員がつけられ、列車通過時には相互の合

図によって退避するのです。ほかのみんなも役割に従って仕事をし、その姿は一つの生命体のようです。そして線路の具合が上出来のときは共に充実感を味わいます。

ある日、列車見張をしていた私は面白いことに気付きました。そのときも「見張りは必ず責任をもって確実に行う」と職場でも誓い合っているように、人命に関わることなので注意深く列車を監視していました。

そんな折ふと思ったのは「想念観察」のことでした。私がアダムスキー哲学を知ってから、どれだけ想念観察にふれてきたことでしょうか。想念観察は宇宙的な生き方につながっています。アダムスキー氏でさえも想念の寝ずの番の必要さを知り、観察を実施していたといえます。

例えば私は列車が進行してきたことを同僚に伝えます。それは一体となって仕事をしている私達の目や耳の役割をもつかもしれません。

一昨年のGAP総会で笠原さん(彼は駅員)は、特急列車を素通りする想念として「想念通過られ、列車通過時には相互の合

に面白い発想であり、私も時々考えたことでした。

私は見張として責任があります。みんなは私を信用して安心して仕事をします。もし私がどこかの草むらで寝てしまったら一体どうなるでしょう。想念も同じことではないでしょうか。自分という細胞の集合体に知らせることによって、永遠に生きる道へつながることにもなると思います。

想念はあらゆる所からやって来るとし、眼の習慣細胞によるところも大きいでしょう。もちろんその中には宇宙的な想念もいっぱいありますが。

とにかく以上のように列車を想念として考えてみました。

次にあげるのは私達の職場に伝わる歌の一節です。

今日の仕事は列車の見張り  
 通る列車に右手上げりゃ  
 通る列車は汽笛の合図  
 今日も安全こころうさん

こんな和やかなふんいきで、宇宙的想念に気を付けていきたいものです。

大自然の中、新緑にまぶしい快晴の日の「むら直し」。自分にあるもの、気がつくことを仕事で出し切って、吹く風さわやか、今日も一日とても充実していました。



## 精神形成と家庭環境

山形支部代表 伊藤達夫  
 (笠原代表への手紙から抜粋)

人は、幼年時代から少年時代にかけての家庭環境によって、その性格や人間性の大半が決まるといわれています。特に両親の生活態度と人生観が、子供の人格形成に大きな役割をはたすことがわかっています。家庭が穏やかな空気に包まれ、落ち着いた、リラックスしたふんいきであれば、子供は情緒的にも安定した状態ですくすくと育って

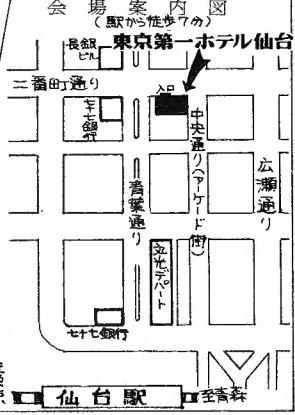
ゆきます。そのような環境で育てば、人は自然と、柔和で落ち着いた着きのある性格が形成されます。そして何をすることも、精神(マインド)が安定しているの、正しい判断と行動をするための基礎が出来ていますから、誤りの少ない道を歩むことができるでしょう。落ち着いた、リラックスした状態のマインドでなければ内部に宿る「宇宙の意識」の声に従って行動することは困難です。

自分のことを申し上げるようで恐縮ですが、私は幼年時代から青年時代までの長い期間、家庭内の荒れた想念波動に悩まされ続けた経験を持っています。今でも、自分の精神構造を分析し、想念をチェックしてみますと、小さいころに受けた荒れた波動の後遺症が根強く残っており、これほどまでに、幼・少年期の家庭環境が、その後の人格形成に影を落としているのか、と驚いております。

## 第3回 仙台・山形合同支部大会

今年も下記要領で合同支部大会を開催します。晩秋のたたずまいを見せる「杜の都。仙台へ是非おいで下さい。

- ※日時 / 11月14日(日) 13時～
- ※会場 / 「東京第一ホテル仙台」  
仙台市中央2丁目3-18  
☎0222-62-1355
- ※会費 / ￥2000
- ※プログラム =
- 1:00 支部代表あいさつ (笠原、清水)
- 1:10 講演 / 久保田八郎
- 2:10 記念撮影・休憩
- 2:30 全員自己紹介
- 討論会・質疑応答
- 5:00 閉会
- 夕食会 (希望者のみ)
- 同会場で開催します。(立食形式)
- ※会費 / ￥4000 (18時～20時)
- ◎夕食会出席または宿泊をご希望の方はハガキで10月20日まで笠原あてお申し込み下さい。



※※お知らせ 10月の仙台支部月例会は中止です。11月は平常通り行います(11月28日)。※※※

15日成田発 16日夜カイロ着  
 17日カイロ(ギザのピラミッド)  
 18日ルクソール 19日カイロ  
 (王家の谷等) 20日ハイデル  
 ベルグ 21日ライン川下り  
 22日夕 ファティマ着 23日フ  
 ァティマ見学 24日夜マドリ  
 ッド着 25日マドリッド市内  
 及びトレド見学 26日パリ  
 27日ローマ 28日ローマ発  
 29日午後成田着 (日付は8月)

上記のような日程で今年も無  
 事15日間が終わった。ただしこ  
 の表はかなり省略してあるので  
 詳細はニューズレター久保田  
 会長の旅行記をご覧いただき  
 い。ということでは、昨年・  
 一昨年の旅行参加体験も含め  
 た私個人の、旅に関する考え  
 などを述べたい。

もとより出歩くのが大嫌いで

## 信念の重要性

信念の重要性を強く感じまし  
 たので、少しそれについて書い  
 てみたいと思います。

最近では優れた卓上計算機(以  
 下略して電卓とします)が多数  
 使用されていますので、これを  
 例えに使ってみました。そのよ  
 うにしますと、心は電卓を使う  
 人、意識は電卓に相当します。  
 電卓を使用して計算するとき、  
 内部に、ある英知が存在すると  
 考えることができます。

1+2の計算をする時に、**1**  
**田**とボタンを押しますと、  
 内部の英知は3と表示してくれ  
 ます。ですから、どうしてこの  
 電卓が計算してくれるのかと考  
 えなくても**田**という目的を  
 与えさえすれば、電卓は計算し  
 て表現してくれるわけです。

我々が盲目的な信念を応用す  
 る時、内部にある意識、という  
 ものを、ある意味では電卓のよ  
 うに使用していると考えること  
 ができます。

ある物事を実現させたい時、  
 我々はイメージを描き、ミラク  
 ルワードを唱えます。これは、  
 意識に対して、意向するボタン  
 を押して入力する行為に相当す  
 ると思います。病気を治したい  
 と思う時、そのような ボタン

# 旅から学ぶもの

柴田郡 安藤 澄雄

あったはずの私が、なぜ3回も  
 海外にまで足を伸ばしたかとい  
 うことは、自分でもつい先日ま  
 でわからなかった。(今まで3回  
 とも深い理由もなく参加し続け  
 ていたのである) しかし三度の  
 旅をよくよく振り返って見た  
 結果、ようやく共通した理由ら  
 しきものがあることに気づいた。  
 第1に、必ず素晴らしい方々  
 と知り合うことができたという  
 ことである。これはGAP会員  
 による旅行団であるということ  
 も大きな原因であろうが、とに  
 かくいづれの旅行でも2週間、  
 実に親切にしていた。この  
 方々は今でも私の大切な友人  
 であり、遠方のため度々お会い  
 することはないが、総会や地方

仙台市 石田 義雄

(ミラクルワード等)を押せば、  
 どのような生活態度をとればよ  
 いか、どのような医薬品を使用  
 すればよいかなどさまざまな回  
 答がでてくるでしょう。また、  
 エゴを少なくしようと思うとき  
 は、同様にボタンを操作すれば、  
 意識が回答を与えてくれると思  
 います。

信念は、意識と心の間の情報  
 における結びつきを強くする手  
 段だと思えます。

ですから誤った目的をもった  
 信念であっても、それに対応し  
 た結果を生じます。また、疑惑  
 は誤った電卓の操作に似ていま  
 す。1+2を計算する時**田田**  
**田**とボタンを押すようなもので  
 す。疑惑を抱いた時は、すでに  
 心は意識に対して誤った情報を  
 伝えているのです。

電卓を使う時、内部の動きに  
 ついて考えない人が多いと思い  
 ます。同様なことは意識につい  
 ても言えるでしょう。心は意識  
 に対して何かをしてほしいなら  
 ば、何らかの形で働きかけねば  
 なりません。

我々が成し遂げようとしてい  
 ることの一つは、意識と心の間  
 のやりとりを、いかにうまくや  
 るか、という事だと思えます。

支部大会などの折にお目にかか  
 れるのが非常に楽しみである。

第2に、いろいろあったけれ  
 どもとにかく楽しかったという  
 ことがあげられる。「次回もき  
 っと楽しめよう」と期待した  
 からこそ参加してきたのである。  
 そしてその期待は実現された。  
 第3に旅行に行くことによっ  
 て己の精神的進歩を感じたから  
 である。旅行中の体験のみなら  
 ず、「旅行に参加しよう!」とい  
 う意志がすでに自分を変え始め  
 ていたことに気づくのは私だけ  
 ではあるまい。ここでも目に見  
 えぬものの力の偉大さに驚か  
 される。

以上、旅行に参加した理由ら  
 しきものを三点だけあげたが、  
 考えてみるとこの三つともそれ  
 かりである。口数が少なく、人  
 見知りをした私には親しい友人  
 が極めて少なく、人の中にいて  
 楽しいと感じたこともあまりな

かった。強いて言えば一人でい  
 るときが一番楽しかった。しか  
 しGAPに入会し、これではい  
 けない、もっと心を開かねば、  
 もっと楽しまなければと強く思  
 い始めたときに旅行参加を申し  
 込んだのだ。言ってみれば  
 旅行は私にとって「変化、だっ  
 たのである。

金がない、ヒマがないといっ  
 て参加をしぶっておられる方も  
 多いようだが、金は何とかなる。  
 ヒマも必ず作れる。要は決心で  
 ある。本当に行きたいれば必ず  
 行けるものだと私は思う。信念  
 こそが本当のパスポートだと、  
 私は過去3回の旅行を通じて教  
 えられた。旅行がすべてでもあ  
 るまいが、行くだけの価値は十  
 分にある。

だれが言ったか忘れたが(今  
 回のメンバーの一人)旅行中に  
 聞いた次の言葉が耳に残る。

待っていても  
 楽しくならない。  
 楽しさは  
 自分で作るものだ。

**草原** \*\*\*\*\* 孤独 \*\*\*\*\* 笠原弘可

私は Y氏に「孤独とは宇宙的なものだ」と強調  
 した。Y氏は「はあ」と言って苦笑した/今でもある意味におい  
 て宇宙的だと思っている。しかし、ある意味においての範囲を越  
 える程宇宙的だとは思えなくなった。誰しも一時期、人によつて  
 は長年月、孤独の世界をうろつく経験を持つ。その上で人それぞ  
 れに孤独から、自発的または他発的に離れていく。ところが、その  
 根を探ると未だに孤独を引きずって生きている/私の論旨は、孤  
 独に苦しむことから生命力にその思考を拡げる有意義だった。宇  
 宙を志向したころの私には確かにその経緯があった。きっと同様  
 の経緯を有する人も少なくないだろう/今、幾分か変わったのは、  
 孤独にも種類があると知れたからだ。意識の圧迫からくる孤独は、  
 ある意味で宇宙的である/意識を念頭に、人を見た。木を見  
 た。空を仰いだ。私は決して孤独ではなかった。孤独という言葉  
 すら忘れていた/私は Y氏に孤独を語った。Y氏の苦笑は心なし  
 か孤独だった。——私は、Y氏を心から尊敬している——

~~~~~編集後記~~~~~  
 ◎本号より支部報のスタイルを  
 改め、ほぼ定期的に(1~2カ  
 月に1回)発行する予定です。  
 ◎第1面に掲載の通り、来る11  
 月後ともご支援のほどよろしく  
 お願いたします。  
 ◎本紙は仙台支部月例会会場で  
 無料頒布しますが、遠方の方  
 でも送料のみお送りいただけば  
 お送りいたします。(切手可)  
 ◎本紙のお申し込み、ご意見、  
 ご感想等は従来通り笠原代表ま  
 でお寄せ下さい。皆様のご寄稿  
 を心からお待ちしています。  
 ◎第1面に掲載の通り、来る11  
 月14日(日)には恒例の仙台・山  
 形合同支部大会を開催します。  
 今回は徹底的な討論会・質疑応  
 答を予定しており、特に宇宙哲  
 学の実践に関する問題を深く掘  
 り下げたいと思います。多数の  
 ご参加をお待ちしています。(A)